

II. 日本的「彫刻」表現の成立 — 大正～昭和前期

The Formation of Japanese Sculpture Expression



木彫の伝統のうちに息づく日本の美意識と、対象にそなわる内面的実在感の豊かな量感表現を主眼としたロダン風の彫塑の制作方向をどのように融和させ、日本ならではの近代的造型を生みだしていったらいいのか。これこそが、ブロンズ彫塑と常に対比、評価されるようになった大正期以降の木彫家が、何よりの課題としたことであった。

一方、彫塑制作に携わる作家もまた、西欧の彫刻技法を消化したうえで、いかに日本の風土に根ざした独自の立体表現を確立させるかという挑戦を重ねていくことになる。

参考—オーギュスト・ロダン 《うちひしがれたキャリアード》(旧御物名:女像置物)
1880～81年 鋳造



23—新海竹太郎 《一致》
明治44年(1911) 木彫

- ・各展覧会図録中，作品名や作者，制作年などの表記は，図録発行当時のものです。
- ・三の丸尚蔵館の展覧会図録の著作権はすべて宮内庁に属し，本ファイルを改変，再配布するなどの行為は有償・無償を問わずできません。
- ・三の丸尚蔵館の展覧会図録（PDF ファイル）に掲載された文章や図版を利用する場合は，書籍と同様に出典を明記してください。また，図版を出版・放送・ウェブサイト・研究資料などに使用する場合は，宮内庁ホームページに記載している「三の丸尚蔵館収蔵作品等の写真使用について」のとおり手続きを行ってください。なお，図版を営利目的の販売品や広告，また個人的な目的等で使用することはできません。

近代日本の置物と彫刻と人形と
— 豊饒なる立体像の世界
三の丸尚蔵館展覧会図録No.34

編集 宮内庁三の丸尚蔵館
制作 株式会社 東京美術
翻訳 横溝廣子
発行 宮内庁
平成16年3月27日

Modern Japanese Ornamental Artifacts, Sculpture, and Dolls
— the fruitful world of three dimensional figures
Sannomaru Shōzōkan Exhibition Catalogue No.34

Edited by the Museum of the Imperial Collections, Tokyo
(Sannomaru Shōzōkan)

Printed by Tokyo Bijutsu Co., Ltd.
Translated by Hiroko Yokomizo
Published by Imperial Household Agency, Japan
Issued on March 27, 2004

Copyright ©2004, The Museum of the Imperial Collections, Tokyo